

1. 第 11 回偏極イオン源と標的に関する国際ワークショップ

2. 開催日: 2005 年 11 月 14-17 日

3. 開催場所: 東大弥生キャンパス

4. chairman: 酒井英行 (東大)、旭耕一郎 (理研 / 東工大)

secretary: 上坂友洋 (東大、文責)、吉見彰洋 (理研)

5. 参加者数 80 人 (国内 50 人、国外 30 人)

6. 共催・資金に関する情報

CNS(主催): 70 万円

理研(主催): 50 万円

RCNP: 30 万円

国際スピン物理委員会: 10 万円

7. ワークショップ・ホームページ

<http://www.cns.s.u-tokyo.ac.jp/pst05/>

8. 本ワークショップは、偏極イオン源と偏極標的、及び関連する分野の最近の進展について議論を行うものであり、隔年で開かれ今回で 11 回を数える。

今回も、これまでと同様 CERN や SLAC、RHIC-SPIN 等での核子スピンの起源を探る高エネルギー実験におけるスピン偏極ビーム・標的に関する報告があった一方、不安定核を中心とした低・中間エネルギー物理学における応用の報告も多々あった。また、対称性の破れ等の一般物理学への核偏極の応用や、新しい手法による核偏極への取り組みに関する報告も各々数件あり、活発な議論がなされた。

なお、RCNP からの補助は、国内参加者の旅費に当させていただきました。この場をお借りして感謝致します。ありがとうございました。